

三重県観光振興基本計画（令和6年度～令和8年度）に基づく 令和8年度アクションプラン 概要版

○アクションプランの位置づけ

三重県観光振興基本計画の実効性を高めるツールとして、令和7年度に引き続き作成・活用します。

○アクションプランの構成

①主目標・副目標をKGIとし、「目標値・実績」、「令和8年度目標達成に向けた方向性」を設定

②①を達成するために3つの施策の柱を定め、施策の柱の具体的な戦略ごとに「目標値（KPI）・実績」、「令和7年度のKPIの達成状況及び評価」、「令和8年度のKPI達成に向けた重要達成要因（KSF）」、「令和8年度の取組の方向性」を設定

※戦略目標であるKPIを達成することでKGIを達成する仕組み

目標項目（KGI）		R7目標	R7実績	達成率
主目標	観光消費額	5,560億円	※集計中	—
副目標1 旅行者よし	観光紹介意向率 ※県「観光客実態調査」の「紹介意向」にて、「大変そう思う」と回答した人の割合	40.8%	37.2% （「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」の合計は89.1%）	91.2%
副目標2 事業者よし	観光従事者満足度	57.0%	64.4%	113.0%
副目標3 地域住民よし	観光がプラスの効果をもたらすと捉えている地域住民の割合	73.2%	※集計中	—

①質が高く、持続可能な観光地づくり ⇒ 旅行者よし・地域住民よし

戦略		R7戦略目標 (KPI)	R7実績 (達成率)	達成状況及び評価	令和8年度の主な取組の方向性
1 1	持続可能な観光地マネジメント	持続可能な観光地づくりに取り組む地域数 : 累計3地域	累計3地域 (100.0%)	<ul style="list-style-type: none"> JSTS-Dの認証を得た地域数は目標を達成 持続可能な観光地づくりに取り組む地域DMOを支援できるよう、引き続き(公社)三重県観光連盟の基盤強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 地域DMO等が持続可能な観光地マネジメント体制を確立するうえでの課題を解決できるよう、(公社)三重県観光連盟によるコンサルティング支援を実施
		先駆的DMOの認定数 : 0	0 (100.0%)		
1 2	観光の質の向上による高付加価値化	日本人宿泊者観光消費単価 : 29,500円	31,376円 (106.4%)	<ul style="list-style-type: none"> 現状として目標値を上回っているものの、消費者物価指数の上昇や円安の影響により高上げされている側面もあることから、引き続き、高付加価値旅行者の多様なニーズをふまえて観光基盤や旅行体験の充実を図ることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 「上質な『みえ旅』宿泊施設立地補助金」を活用した宿泊施設の誘致活動を実施 高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイドの確保・育成に向けた実践的な講座や活躍機会創出を実施
		外国人観光消費単価 : 48,950円	51,000円 (104.2%)		
1 3	三重の特色を生かした滞在型観光の推進	平均宿泊日数 : 1.30泊	1.20泊 ※速報値 (92.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 現状値として目標値を下回っており、かつ、前年よりも低下している。ターゲットを定め、旅行者の周遊促進に向けた滞在価値を創出することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行者の滞在・周遊性を高めるため、歴史・文化、食、自然(癒し)等の三重ならではの観光資源を生かし、広域のブランディングやストーリー性のある周遊ルートの造成に取り組むとともに、ガストロノミーツーリズムを推進
1 4	旅行者を受け入れる基盤の整備	宿泊者満足度 : 48.3%	42.4% (87.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 「大変満足」の割合については、目標及び前年を下回ったが、「大変満足」・「満足」・「やや満足」の合計は前年を上回る97.5%(前年差+0.2%) 県外宿泊者5回以上リピーター率についても、目標及び前年を下回ったが、2回目以上のリピーター率の合計は前年を上回る86.5%(前年差+0.6%) 宿泊者満足度の「大変満足」の割合を向上させることにより、リピーターが増加すると考えられることから、旅行者のさまざまなニーズに応えていくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設や観光施設の高付加価値化やユニバーサルツーリズム、観光防災に資する改修及び熊野古道沿線のトイレの充実化等を支援 県内の宿泊施設や観光施設において、「観光地における心のバリアフリー認定」の取得促進を含む、バリアフリー推進及びバリアフリー情報の効果的な発信を行うほか、バリアフリー観光に資する旅行商品の造成を支援
		県外宿泊者5回以上リピーター率 : 63.4%	54.9% (86.6%)		



←戦略1-3
海女小屋体験施設(志摩市・左)
庭園(菰野町・右)

戦略1-4→
宿泊施設の和洋室化による高付加価値化改修



②戦略的な観光誘客の推進 ⇒ 旅行者よし・事業者よし

戦略		R 7 戦略目標 (KPI)	R 7 実績 (達成率)	達成状況及び評価	令和8年度の主な取組の方向性
2 1 1	戦略的な観光マーケティングの推進	観光地域マーケティング戦略を策定したDMOの数：2	2 (100.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 現状として目標を達成している。引き続き、地域DMOの戦略策定や見直しについてコンサルティング支援に取り組むことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 全県DMOである(公社)三重県観光連盟により、観光地域マーケティング戦略を策定するうえでの課題解決に向けたコンサルティングによる支援や、自社サイトや自社SNS等を活用した情報発信及びデータ分析手法に関する支援を実施
2 1 2	国内観光誘客の推進	日本人延べ宿泊者数：904万人	895万7千人 ※速報値 (99.1%)	<ul style="list-style-type: none"> 目標をわずかに下回ったが、宿泊日数の長い首都圏からの宿泊者割合は前年と比較して増加。引き続き、首都圏や関西圏等大都市圏への三重県の魅力発信や、第63回式年遷宮に伴うお木曳行事等大規模イベントの契機を生かしたプロモーションに一層取り組んでいくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNSやテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など、多様な手段を活用することにより、効果的に三重の魅力を発信 第63回式年遷宮を契機に三重県への関心を高めるため、お木曳行事を題材とした観光プロモーションを実施
		宿泊を伴う教育旅行で県外から訪れた学生数：69,000人	※集計中	<ul style="list-style-type: none"> 実績は集計中ではあるものの、少子化による生徒数減少や、コロナ禍で増えた愛知県など近隣県の学校の大幅な実績減等の影響により、目標値を下回る見込み。県外からの教育旅行誘致に向け、引き続き学校のニーズに沿って、目的地としての魅力を効果的に発信していくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 平日の観光需要喚起や県内への再訪が見込める将来のリピーター獲得につなげるため、県外からの教育旅行の誘致に向けた目的地としての魅力のPR等を実施
2 1 3	インバウンド誘客/MICE・産業観光の推進	外国人延べ宿泊者数：42万人	37万2千人 ※速報値 (88.6%)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を下回ったものの、前年と比べると54.3%増加しており、令和元年との比較でも回復率95.7%と、おおそコロナ禍前の水準まで回復した。オーバーツーリズムの未然防止を念頭に置きつつ、策定中の「みえインバウンド誘客計画(仮称)」に基づき、効果的なプロモーションに取り組んでいくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> データに基づき本県の強み・弱み等を分析し、有識者等の意見もふまえ「みえインバウンド誘客計画(仮称)」を策定 インバウンドが関心を寄せる体験コンテンツ等の紹介動画の作成やトップインフルエンサーを活用した情報発信や観光・食・物産が一体となったプロモーションなどを実施 ゴールデンルートからの誘客を図るため、鉄道事業者と連携した観光地とアクセス情報をセットにしたプロモーションや海外OTAを活用した情報発信を実施 レップの設置・拡大やフランス企業の福利厚生旅行の誘致などを実施
		国際会議開催件数：12件	9件 (75.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を下回った。令和7年度からMICE補助金の対象を国際会議に加え、企業による会議やインセンティブ旅行まで拡充したため、大学との連携やレップ等の機会を活用しながら、引き続きMICE誘致に取り組んでいくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 海外からの企業の報奨旅行・研修旅行の増加につなげるため、三重県産業観光推進協議会によるプロモーション等の活動を支援します。また、レップの設置や商談会参加に加え、三重県海外MICE誘致促進補助金の活用や関係機関との連携により、さらなるMICE誘致を実施

③魅力的な観光産業の確立 ⇒ 事業者よし・地域住民よし

戦略		R7戦略目標 (KPI)	R7実績 (達成率)	達成状況及び評価	令和8年度の主な取組の方向性
3-1	観光産業の生産性向上	生産性向上に取り組んだ事業者数：累計25者	累計117者 (468.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 目標値は上回ったものの、現状として、事業規模や人手・人材不足を理由に、そもそも生産性向上や人材確保等に取り組める環境にない事業者もあることから、観光事業者が自ら取組を促進できるよう支援することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、生産性向上や人材確保等に関する取組事例を創出するモデル事業を実施し、横展開を図ることで、観光事業者が生産性向上や人材確保等に取り組むきっかけをつくり、県内観光産業全体で生産性向上や人材確保等の取組を促進 人手・人材不足等により生産性向上や人材確保等への取組を進められていない事業者を対象に、採用・経理・労務などの業務の外注化を支援し、収益や経営に直結する業務に集中できる環境を整えることで、生産性向上や人材確保等の取組を促進
3-2	観光産業を支える人材の確保・育成・定着	待遇改善に取り組んだ事業者数：累計25者	累計84者 (336.0%)		



↑戦略2-2
首都圏観光情報説明会
みえ旅レセプション2025 (東京都新宿区)



↑戦略2-3
海外インフルエンサーによる県内視察 (鳥羽市)



↑戦略2-3
フランス福利厚生旅行に係るMOU締結式



↑戦略3-1、3-2
観光産業の生産性向上・人材確保事業に関する
成果報告会